

令和6年4月1日

立教187年

4月号
第619号



発行所

天理教宇仁大教会
〒677-0015 西脇市西脇770-4
電話 0795(22)4066番
FAX 0795(22)4072番
unigrandchurch@yahoo.co.jp

教会長夫妻おたすけ推進のつどい (2月25日)



散歩道

桜が咲く季節を迎えました。
新プロジェクトXが始まるという。そして、新・地上の星が歌われる。どんな曲になるのだろうかと思う。
プロジェクトXは、二〇〇〇年から二〇〇五年までに放送された。あれから二十年近く過ぎた。それだけの時が過ぎて社会はどう変わったのだろうか。
プロジェクトXが最終回を迎えたのは、ずいぶん遠い日のことだったような気がします。「もう何処にも、地味な人生を見守ってくれる人は居なくなったのかなあ」と、寒々とした気持ちになったものでした。
どんなに時は流れ、どんなに地図は塗り替わっても、どこかの片隅で着実に人間を支え続けている人間たちを、この「新プロジェクトX」がこれからも見守ってくれることを信じていたいと思います。
今回のプロジェクトXに当たったの中島みゆきさんからのコメントです。
教祖百四十年祭三年千日二年目にあって、教祖のひながたを辿り陽気ぐらしを味わおうの日に参考にしたいなと思う。

一 理 塚

教会長夫妻講習会を受講して、今一度、自分自身を振り返り、足元を見つめる機会を作って下さった事に感謝します。受講された皆様の意見を聞きながら、私が預かっている教会も同じ様な事だと思いつながら、いや、それ以前の問題だとも思いました。それというのも、教会事を進めていく上で、自分達の力の無さを痛感し、二年前に夫婦で、育成に役立つ研修会を受講しようと思いつき、申し込みました。おちばへ帰れば、きっと何かしらのヒントがあるのではないかと。受講日の朝に、荷物を積み込むために、車を出してきたのですが、いざ出発する時に、なんとエンジンがかからない。「え？今、動いてたやん。」慌てて車屋に電話をするが、今の今は難しい、次の日に……との事で……。さあ、どうしましょう。かねてより、おぢばは帰りたい。と思っても、呼んでいただかなければ帰れない所。

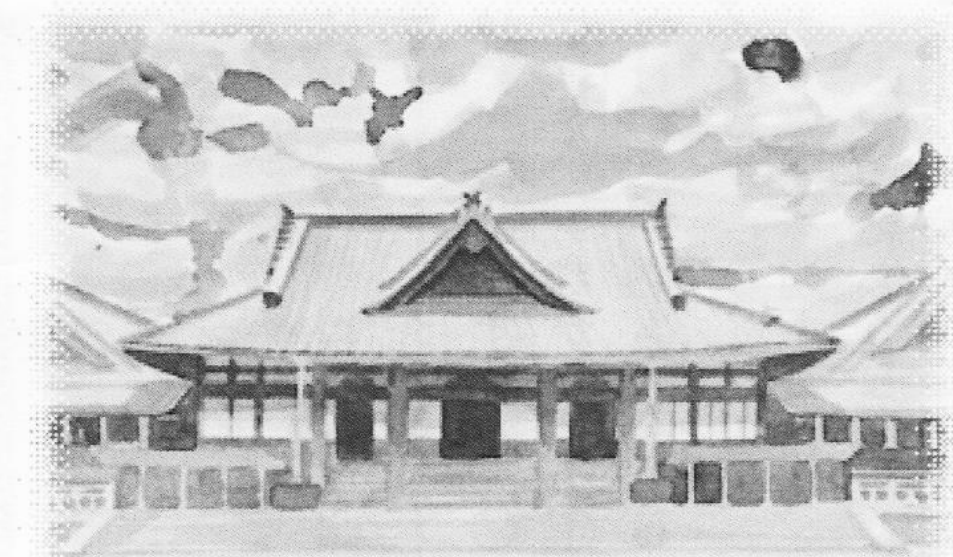
と聞かせて頂いていた。正に、今の今まで動いていた車が、出発のタイミングで動かなくなつた事に対して、「あ、自分達は呼ばれていないんだ。」と思いましたが、それは、とても残念でしたが、逆に、「お前は来るな。」と名指して言われた気になって、親神様の思いがあるようにも感じられました。……。うそです。本当は、もう諦めました。自分では、どうする事も出来ないし、神様は来るなと言う。もう、お手上げで考える事をやめてしまいました。その時に浮かんだ言葉が、「歩けんようになって、座ったらええ。」でした。

学生時代に、どの先生だったか忘れましたが、聞かせて頂いた言葉

日なあ。歩けんようになって、座ったらええ。人間の領分と神様の領分とはつきり分ける事が肝心や。賢うなったら道は通れん。喜びはわいてこん。この道は実行。ひながたの道、通るより他に道ないで。

世はコロナ……。緊急事態宣言を経て、手も足も出なくなり、面倒くさくなり、おぢばにも呼ばれなくなり打つ手なし。「もういいや。休憩や。」となりました。なのに大教会から、百四十年祭目標を……。と言われ、「目標なんかないっちゅーねん。立てられへんねん。今、休憩やねん。」と目標も立てれず一年を悶々とイライラと過ごし、二年目に貴教会は未提出です。目標を設定してください。との催促が届いてしまった。改めて頭を抱え込んでいる自分に家内が、「こんなものはどうでしょうか？」と声をかけてくれました。それは目標というには、あまりにも低く、とても、ここには書けるものではありませんが、今の自分達に出来るかもしれない

い目標、もしくは、今だから出来る事かもしれない、そんな目標でした。不思議なもので、目標が定まれば、それに向けて動いている自分がいる。そして、教会長夫妻講習会を経て、その不思議の成り行きに気付けていただけました。目標は、遠い所にあるのではなく、自分達の足元にその芽はありました。気付くのに一年以上が掛かってしまいました。遅れ馳せながらも、百四十年祭に向けて力を合わせて目標の芽を大切に育てようと思えます。



教会長夫妻 おたすけ推進のつどい

二月二十五日、宇仁詰所にて「教祖百四十年祭 教会長夫妻おたすけ推進のつどい」を開催いたしました。この行事は本部のたすけ委員会より打ち出されものであり、目的は教会活動の中心となる教会長とその配偶者が、道の先達としてより一層力を入れて、にをいがけ・おたすけに取り組み、それぞれの教会が定めた目標の達成と、年祭の旬に相応しい成人の実、おたすけの実を お見せ頂くところにあります。

大教会長様のあいさつに続き、DVDにて内統領先生のメッセージを聞かせて頂き、基調講演では安藤恵介先生（南海・元宮名）にご登壇頂き、にをいがけ・おたすけの素晴らしさと年祭活動の大切さについてお仕込み頂きました。また、ワークタイムでは、教会長夫妻が昨年の年頭に定めた年祭活動の目標を改めて確認し、過ぎし一年を振り返る

と共に、その成果と反省をふまえて年祭活動二年目の歩み方について夫婦で話し合いました。更にこの度の行事では、三つの実践項目「日々のにをいがけ」「積極的なおたすけ」「おぢば帰りの推奨」の理を戴く」が提唱され、その具体的な実践目標を会長夫妻が相談の上、所定の用紙に記入し、四月二十四日までに大教会に提出して頂くことになっております。

これら三つの項目はどれも決して目新しいものではありません。しかし今この年祭活動のタイミングで、あえて提唱されたということにはきつとご本部の深い思惑があったのだと思うのです。

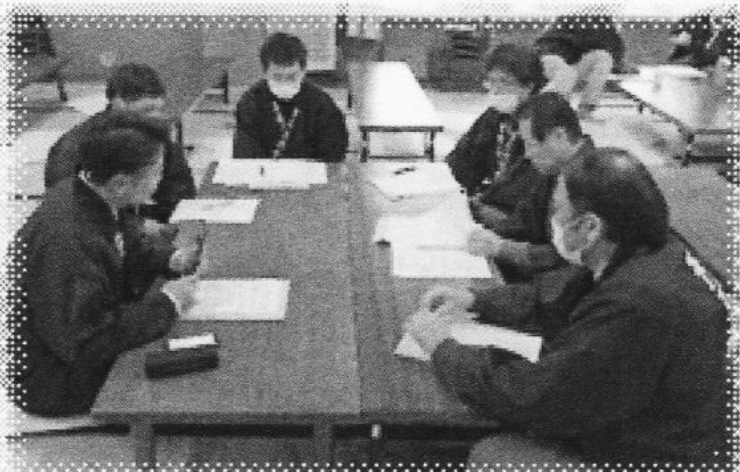
確かにどれもお道の基礎と言われる信仰実践ではありますが、果たしてどれだけの教会がこの三つの項目を日常的に実践できているか。もしこの基本的な実践がどの教会でも行われていれば今のような教勢の低迷や何千もの教会の名称を御本部へ戻しすることはなかったかもしれません。

特にコロナ禍においてお道の活動の上にも大きな制限がかかり、外へ向かってのにをいがけやおたすけが出来なくなり、おぢばへ帰ることさえ制限されてしまいました。そうしたもどかしい時間を二年三年と過ごすうちに、私たち教会長もどこか心が内向きになり、教会活動も停滞し、外へ向かうにをいがけ・おたすけのエネルギーを失ってしまったような気がするのです。

しかし、世界たすけを自負する私たち教祖の道具衆がいつまでも心を内向きにしたままでは、親神様が望まれる陽気ぐらし世界の実現は遠ざかるばかりでありますし、今も存命でお働き下さる教祖に申し訳が立ちません。まずは、道の先達である我々教会長がお道のおたすけの原点に立ち返り、教会長が教会長らしく、また教会が教会らしくその役目を果たすべく、今私に出来るにをいがけ・おたすけを考え、力強く動き出さなければなりません。

更には教会につながるようば

く・信者の皆様にも後に続いていただき、教会が一手一つになっておぢばの声に沿って実動していただければ、必ずおぢばの理と年祭の理をいただいで、教会に大きなたすけの実をお見せ頂けるものと確信しております。





所感 冷たい風が吹く中、少人数ではありますが、いきいき通信をポスティングさせて頂きました。いつもポスティングさせて頂いているお宅の方にお会いできて「いつも楽しみにしていますんです」と言って頂き、観てもらえている事が実感でき嬉しかったです。これからの活動の励みにもなりました。

『教祖と歩む三年千日』
教会布教実働報告

◎鴨ノ国分教会会場

布教日 二月十六日

参加者 三名

会場 桑原田町内

内容 ポスティング

別席強調月間
期間 四月一日～三十日
立教百八十七年 大教会心定め
初席者五十人の完遂を目指そう！



教祖と共に歩む三年千日

大教会布教実働日

『教祖のお供に歩かせて頂く日』

毎月15日 午後1時30分 大教会神殿集合
戸別訪問・振り返り 午後三時三十分 解散

『親神様の神名を世界へ流す日』

毎月24日 午後1時30分頃 大教会神殿集合
神名流し 午後二時 終了

少年会宇仁団&学生会よりお知らせ

第二回 合同おとまり会のご案内

昨年11月に第1回を開催しました宇仁大教会でのおとまり会を、今年はゴールデンウィーク期間中に開催します。今回も初日はテラドームでのスターウォッチングやプラネタリウム見学。2日目は多神分教会長松本育大先生によるリトミックなど、楽しいプログラムを企画しています。お泊まりでも日帰りでも、子どもだけでも親子でも、いろんな形でご参加下さい。

◆対象

小学生以上の宇仁大教会信者子弟（就学前のお子さんは保護者同伴で○）

☆スターウォッチングは定員20名です

◆日時

5月3日（金）～4日（土）

3日午後6時半集合 4日午後2時頃解散

◆参加費 1,000円（日帰り500円）

◆持ち物

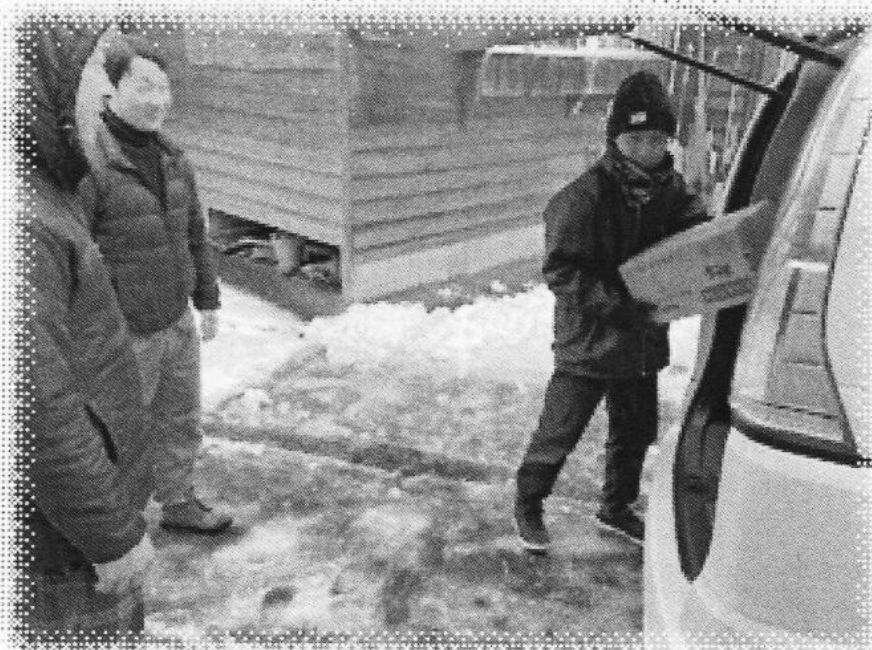
着替え 洗面具 寝袋（あれば）

お問合せは少年会団長原田信一まで

令和6年 能登半島地震 第1回災害支援活動報告

令和6年3月3日（日）AM1：30に宇仁大教会を出発し、石川県珠洲市へ支援物資を届けさせていただきました。当日の支援先となった若山分教会（鹿島大教会部内）の周辺は高齢者の方が多く、なかなか物資を買いに行くことができない状況との事で大変喜んでおられました。まだまだ断水が続いており厳しい生活状況下なのは変わりませんが、宇仁大教会としても少しでも被災者の方に寄り添うべく、今後も災害支援を継続していきますので、ご支援よろしくお願ひします。最後になりましたが、義援金、物資を支援いただきました宇仁大教会に繋がる皆様に厚く御礼申し上げます。

宇仁青年会委員長 遠藤拓弥



支援物資一覧

- 無洗米 55キロ
- 冷凍食品、肉類（ハム、ソーセージ、ハンバーグ他）（3万円）
- カール 1箱
- 水 2ケース
- お菓子 段ボール6ケース
- ビール 1ケース 他

『宇仁会報に見る大教会史』 第88回

⑥平成という時代

(1)

さて、創立百周年に沸いた年が明け、平成六年となった。今(令和六年)からちょうど三十年前である。今でこそ「昭和は遠くなりけり」といった感があるが、当時はまだ昭和の残り香があちこちに漂っていた。

この年の主な出来事と言えば、何ととっても社会党村山内閣の誕生であろう。いわゆる連立政権による日本最初の内閣である。だが気の毒な事に、翌年に起こった阪神淡路大震災や地下鉄サリン事件への対応の拙さなどから長くはもたなかった。まずこの年に世間を騒がせたのは、松本サリン事件である。こんな大変が次々に起こる時に総理になった人は何とも運が悪いとしか言いようがない。

世界では、マンデラ氏が南アフリカで黒人初の大統領に就任している。また、日本人初の女

性宇宙飛行士(向井千秋さん)が宇宙へ飛び立ったのもこの年である。

一方、お道では「教組百年祭の歌」が発表され、年祭活動二年目の年として拍車がかけられた。

閑話休題。ここまで大教会史を書き進めてきたが、今回から新しい章に入る。これまで、

- ① 創刊の頃 第一回
 - ② 教組九十年祭 第五回
 - ③ 母屋ふしん 第十四回
 - ④ 教組百年祭 第三十二回
 - ⑤ 創立百周年 第五十六回
- そして、この度の第八十八回からは、最終章「平成という時代」というタイトルにした。ここまでちょうど十年かかった。ここから先は記憶に新しいと思う人が増えてくると思う。だから、あまり細かい事は書かず、一気にスピードアップしたいと考えている。ただ、大事なポイントだけは押さえていきたい。

天理教災救隊ひのきしん隊基金についてのご案内

振込先

◎ゆうちょ銀行または郵便局からの振り込み

口座記号番号 00960-5-197968 口座名義 天理教災害対策委員会

◎他金融機関からの振り込み

銀行名 ゆうちょ銀行 支店名 ○九九店 預金種目 当座預金

口座番号 0197968 口座名義 テンリキョウサイガイタイサクイインカイ

※受領証を希望する場合は、災害対策委員会事務局まで。電話0743-63-1516(表統領室室務課)

◎ご持参くださる場合

天理市内の道友社1階カウンターおよび道友社販売所「おやさと書店」で受け付けています

※受領証を希望する場合は、受け付け時にお申し付けください。

おぢば通信

二月のうつき

◎別席の誓い

初席者 兵庫中央 一名
豊原 一名

◎二月帰参者

一〇七名
(詰所調べ)

4月行事予定表

15日 布教実働日

18日 教祖ご誕生祭

19日 第106回婦人会総会

24日 大教会月次祭

午前10時30分執行

神名流し

26日 本部月次祭

午前6時執行

3月～6月

部内一斉巡教

婦人会より

◇大教会炊事当番

4月 直 属

5月 神福B

6月 中河合

よろしく

お願いします